

キンキサイン 40億円投資

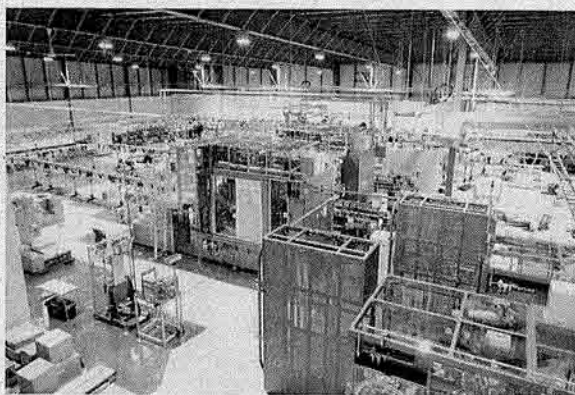
建設・生活・環境・エネルギー

本社第二工場 設備刷新

OEM対応 茶系飲料以外を製造

【姫路】キンキサイン（兵庫県姫路市、山口祖広社長、079・280・3185）

は、本社第二工場（兵庫県神河町）で果汁飲料やコーヒーなどの製造を始める。同工場で茶系飲料以外の製造は初めて。現在休止中の建屋で生産設備の刷新を進めており、2020年中に稼働する。投資額は約40億円。複数の飲料メーカーからOEM（相手先ブランド）生産の受注が寄せられており対応する。



本社第二工場に昨年新設した「3号ライン」

倉庫を含めた延べ床面積が約5000平方メートルを導入する。また、完成した飲料を保管できる自動倉庫を新設す

自動で並べられるロボットを導入。これによりフォークリフトなど人の手を介さず、完成品を保管できる体制を構築し、

生産効率を高める。

初の試みとして、飲料物を詰めるペットボトルの成形を自社で始める予定で、ブロー成形機を1台新設する。2号ラインでは果汁飲料やコーヒー、スポーツドリンクなどを手

がける見込み。525ミリの入り飲料物なら1分間当たり600本作れる。2号ラインの生産能力は年間600万本。本社第二工場全体の年間生産能力は、ライン稼働後には現状比3割増の最大2800万本の見込み。

同社によると取引先には、物流における人手不足のため、できる限り消費地・関西に近い所で生産し、搬送距離を短くしたい狙いが

あるという。

キンキサインは飲料メーカー。売上高の9割以上がOEMメーカー向けで茶系ペットボトル飲料を中心に生産する。19年12月の売上高は約269億円。同社は19年に同工場内に「3号ライン」を新設。

茶系ペットボトル飲料の生産能力を増強するなど、OEM先からのニーズが高まっている。